

## タックル

タックルは、敵側の選手からボールを奪い、ボールを再び支配することを試みるために利用される技です。



## 手

ボールを弾くために、最も近い方の手を利用します。



## 頭

常にボールから目を離さないでください。

## 足

ボールに接近するために、敵側の選手のスペースを通じて、最も近い方の足を利用してください。

## テクニック

このテクニックは、敵側の選手に並行して移動し、敵側の選手からボールを奪うために、最も近い方の手を利用して、ボールを弾くように試みる技です。

## 重要なポイント

- 敵側の選手に並行して走ります。
- 常にボールから目を離さないでください。
- 敵側の選手の遠い方の足が前方に移動する際、最も近い方の足を踏み込みます。
- 敵側の選手によってボールが手から足のつま先部分に移動している際、あるいは敵側の選手がボールを跳ねている際、最も近い方の手を利用して、敵側の選手のボールを弾いてください。
- ボールを支配するためにボールを叩き、ボールを再び所持します。

## 一般的な誤りの事例

### 誤りの事例 1

☹️ 敵側の選手がボールを身体で保持している際、選手が拳を利用して、ボールを叩き、タックルすることは誤りの事例です。

😊 この誤りを修正するために、敵側の選手がボールを身体で保持している際、選手が手、両手を利用して、ボールを叩き、タックルしてはならないものとします。

### 誤りの事例 2

☹️ ボールを蹴る敵側の選手の足に対して十分に接近していない地点に位置することは誤りの事例です。ボールを蹴る敵側の選手は、タックルを受けず、容易にボールをプレーできます。更に、遠い距離から敵側の選手にタックルすることは更に困難です。

😊 タックルを仕掛ける選手は、蹴る選手の足に接近します。これによって、敵側の選手の身体からボールが離れる際、手（両手）を利用してタックルを仕掛ける瞬間を把握することができます。

### 誤りの事例 3

☹️ 他の一般的な誤りは、タックルを仕掛ける選手が目を閉じる、もしくはボールから目を離す際に生じます。すなわち、これによって、選手は、敵側の蹴る選手の足あるいはボールの位置を目視で確認することができません。その結果として、タックルを仕掛ける瞬間を把握することが不可能であり、または敵側の選手の蹴る足と接触する可能性があります。

😊 タックルを仕掛ける選手が、敵側の選手、ボールの位置を認識するために、常にボールから目を離さないことを確認してください。